

大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。
- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

# YMCA

## 大阪青年



月刊 The YMCA 付録  
編集・発行 / 日本YMCA同盟 東京都新宿区本塩町7番地  
大阪青年 発行：末岡祥弘 編集：大阪YMCA広報室  
〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-5-6  
TEL06-6441-0894 FAX06-6445-0297  
URL: http://www.osakaymca.or.jp/  
(年10回発行) 1947年10月27日 第3種郵便物認可

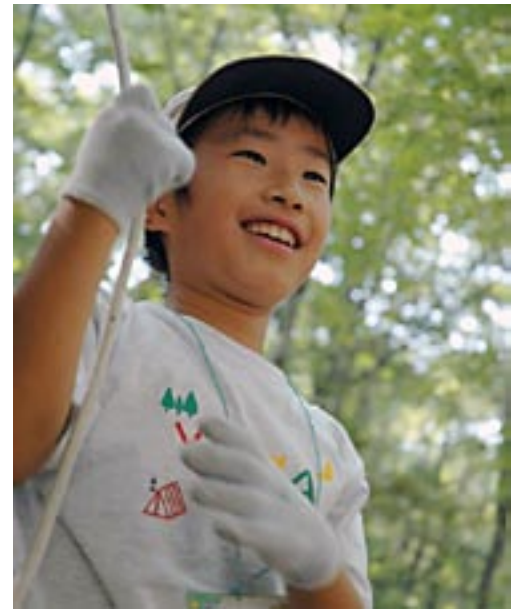
### 新春メッセージ

## 2010年 ころころを高くあげよう

未来に希望をもつ青年を育み、

人に優しい福祉社会を創りだす

大阪YMCA総主事 すえおか よしひろ 末岡 祥弘



ころころを高くあげよう。  
主のみ声にしたがい、ただ主のみを見上げて、心を高くあげよう。  
霧のようなうれいも、やみのような恐れも、みなうしろに投げすて、  
ころころを高くあげよう。

(讃美歌第2編1番)

あけましておめでとうございます。皆様には新年のスタートを心新たに  
お迎えになられたことと思います。

世界が希望をもって新しい世紀を迎えてから早や10年が経とうとして  
います。この間、私たちを取り巻く環境は揺れ動き、グローバルゼー  
ションや経済至上主義の弊害、孤立、格差、地球温暖化と自然災害の増加、  
飢餓・内戦・テロ等など、大阪YMCAが活動の使命に掲げた「環境・人権・  
貧困・平和の課題」は広く深く複雑さをますます増してきています。

今、人々は政権を代え、新しい時代を求めて苦悩していますが、社会  
の希望を「青年」に託すVISIONや夢はどこからも一向に語られて  
きません。様々に語られている議論では経済合理性に判断の基準を置く  
社会の姿が語られていますが、教育や福祉など人が育まれること、生き  
ていくことは経済合理性の視点からのみでは語れないのです。人が生き  
ていく価値や人間観をどこにおくのが議論に現れていないのです。

「VISIONがなければ民は墮落する」と御言葉にあるようにVIS  
IONが消える時、人の力は失せ、知恵は行き詰まります。人であろう  
と国であろうと夢を失い、VISIONを失った時、すべての物事は下  
降線をたどるのではないのでしょうか。

今こそ、YMCAは「未来に希望をもつ青年」を育て社会に送り出す  
役割を果たさなければならないと強く思います。その活動は次のような  
基盤の上にあります。

1. 「未来に希望をもち、社会を変革する青年が育つ場であること」  
—まだ社会に認知されていない“人間観、社会観、価値観”を示す。
2. 「国際的な人と組織のネットワークを持った活動であること」  
—グローバルな視点で人々と連帯する。
3. 「SPIRIT・MIND・BODYが調和した人の成長を図る活  
動であること」—キリスト教に基づく価値観で“人間とは何か”を  
問いかける。
4. 「キリスト者だけでなく、多くの市民と共に人に優しい活動を展開  
すること」—人々が孤立せず繋がりをもちた福祉社会を広げる。

新しい年、霧のようなうれいが覆う社会の中でこそ、主のみ声にした  
がい、心を高くあげ、様々な活動を希望をもって展開してまいりましょ  
う。一つひとつのVISIONが実現していきますように、多くの方々の  
YMCA活動へのご理解、ご協力、ご支援をお願いいたします。

### 地の塩

▼「神からいただいた恵みを、無駄にしたいはいけません。」(コリント人への第二の手紙六章一節) ▼新しい年を迎え、先ずは皆様一人、お一人のうえに神様の恵みと力づけが豊かに与えられますようにお祈りいたします。寅年ということで、昨秋から家内は木目込みの虎を三人の子どもと、その孫たちの数だけ作って、お正月に配りました。私は酉年ですから木目込みの鶏をもらうまで、少なくともあと七年はがんばろうと決心しています▼さて、私たちは自分の歴史に新しい一年が加えられ、2010年という時間を歩き始めましたが、そもそも時間とは誰のものでしょうか。私のもので、自分の時間と想っていないのでしょうか▼時間は決して自分のものではないかもしれません。ほんの一瞬たりとも自分の時間などありはしないのです。時間とは与えられたものなのです。時間が生まれたとき、私たちは時間が始まりました。だから、私自身で生まれた者はいないのです。自分の意思や希望で生まれた人生、与えられた時間です。人生は神様から与えられたもの、時間は神様から与えられたものです▼神様は私たちに新しく寅年という時間を与えてくださいました。時間は神様からの恵みの贈り物です。迎える一日一日は神様の恵みの贈り物です。怠惰な気持ちで無駄に過ごすことはできません。生活のひとこま、ひとこまを、大切に充実させて過ごしたいものです▼新しい年のご多幸を心よりお祈りいたします。(虔)